

解説放送に関する要望について

社会福祉法人日本盲人会連合
会 長 笹 川 吉 彦

視覚障害者向け解説放送については、視覚障害者の強いニーズにもかかわらず、大きく立ち後れた結果となっている。政府は平成15年4月施行の障害者基本計画の策定にあたり解説放送の充実を重点施策として取り上げ、その推進を促したが、現状は改善されていない。

また、本年7月から開始された地上デジタルへの完全移行に際しても、今までの要望が反映されていないのが現状である。

全ての国民に平等に情報を提供することは国の責務であるにもかかわらず、視覚障害者への情報保障はなされていない。このような事態を可及的速やかに解消し、一般国民同様テレビを通じての情報入手が可能となるよう保障していただきたい。

日本盲人会連合ではCS障害者放送統一機構と全国視覚障害者情報提供施設協会との連携のもとに平成16年度から18年度にわたり、独立行政法人福祉医療機構の助成を受け、調査研究を実施し、報告書をまとめた。

この調査によると、

1. 視覚障害者のうち92.1%がテレビから情報を入手しており、87.4%が解説放送の充実を求めている。
2. 番組のうち、特に要望の強い番組は、ニュース報道番組、ドラマ、ノンフィクション、スポーツ等の番組である。
3. 外国語の放送については、内容が理解できないため、日本語への吹き替えを強く要望している。
4. 緊急時の際の通報や速報の音声化についても強い要望がある。

上記に掲げられた要望内容は平成21年に実施した法人独自の調査でも変わっていない。

以下に要望を掲載する。

記

1. 解説放送の充実

(1) 解説放送を充実し、視覚に障害があっても健常者と同じようにテレビを楽しめるようにしていただきたい。

障害者の権利条約などにおいても、障害の有無に関わらず、情報取得が可能になるように「合理的配慮」が求められていることを充分理解して推進することが重要であるといえる。

(2) NHK や民放の区別なく目標設定をしていただきたい。

放送局により差を付けることなく、解説放送が行えるよう、目標を設定し、推進されることが望ましい状態であると考えます。

(3) 定められた目標数値を達成するように放送局を監視していただきたい。

計画を立てて推進する場合、その状況について、達成するように状況を管理していかなければ目標は達成されないものと考えます。

(4) 解説放送の充実のために、放送局に対して予算措置を講じていただきたい。

英国の解説放送に関する資料によれば、年次計画をたて、その推進にあたり、これを参考に我が国においても解説放送充実のため、年次計画をたて、各報道機関が積極的に推進することを期待する。そのためにも予算措置を考えていただくことを提案するものである。

(5) 教育関連の放送については、グラフなどを用いての説明が多くわかりにくいため、解説を付与し、わかりやすくしていただきたい。

2. 情報保障

以下は、解説放送とは別の問題であるが、切り離して考えることが難しいため要望するものである。

(1) テレビの緊急字幕放送や、ニュースを副音声化等により、視覚障害者にもわかるように実施していただきたい。

(2) テレビの文字放送を音声化していただきたい。

(3) 外国語放送には副音声等により、視覚障害者にもわかるように実施していただきたい。

(4) テレビ放送における地デジのデータ通信情報については、音声対応で読み上げるようにしていただきたい。